



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場会社名 天龍木材株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7904 URL <http://www.tenryu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大木 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 邦利 (TEL) 053-421-1188  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,207	8.8	152	△14.2	47	△30.9	50	△2.1
24年3月期第2四半期	7,547	△4.9	178	△4.5	69	3.6	51	130.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 38百万円(28.2%) 24年3月期第2四半期 30百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	5	63	1	37
24年3月期第2四半期	5	73	1	48

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,264		543	3.8		
24年3月期	14,050		504	3.6		

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 543百万円 24年3月期 504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
24年3月期	—	—	—	0	00	0	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0	00	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,135	7.0	428	36.7	197	123.9	202	64.2	22	67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) —— 、除外 一社(社名) ——

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	9,111,190株	24年3月期	9,111,190株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	199,444株	24年3月期	198,664株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	8,912,344株	24年3月期2Q	8,934,350株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報等 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として企業収益や個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調にあります。欧州債務問題と中国経済の減速が懸念されており、また、円高の長期化等もあり、景気の先行き不透明感は依然として払拭されないまま推移しております。

住宅関連業界におきましては、住宅取得促進策の効果や復興関連需要等により、新設住宅着工戸数は44万2千戸（前年同四半期比2.4%増加）となり、持ち直しの動きが見られるものの、デフレ経済の中で価格競争は依然として厳しい状況で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の最終年度として、更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,207,946千円（前年同四半期比8.8%増加）となりました。損益面では、競争激化による利益率の低下等もあり、営業利益152,937千円（前年同四半期比14.2%減少）、経常利益47,785千円（前年同四半期比30.9%減少）となりました。また、東日本大震災により被災した当社石巻支店の施設・設備の復旧整備に要する経費について、補助金収入89,260千円を特別利益に計上するとともに、固定資産圧縮損76,024千円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は50,158千円（前年同四半期比2.1%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ・ 木材事業

木材事業につきましては、石巻支店製材工場の操業再開により営業活動が本格化したこと等から、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は、6,544,536千円（前年同四半期比12.2%増加）、セグメント利益（営業利益）は、194,227千円（前年同四半期比1.3%増加）となりました。

## ・ 建材事業

建材事業につきましては、営業体制の見直しによる商物品等の売上増加があったものの、震災の影響により仮設住宅向けの二次加工合板を中心に需要が増加した前年同四半期に比べ取り扱い数量が減少したこと等から、売上高が、前年同四半期に比べ減少しました。この結果、売上高は、1,152,560千円（前年同四半期比2.0%減少）、セグメント損失（営業損失）68,527千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）20,644千円）となりました。

## ・ その他

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により受注を確保するとともに、住宅周辺業務の強化に努めましたが、中小工務店からの受注物件が第3四半期以降にずれ込んだことにより売上高が前年同四半期に比べ減少しました。また、不動産賃貸事業は、平成23年10月に天龍東京ビル（テナントビル）を売却したことにより、不動産賃貸収入が前年同四半期に比べ減少しました。この結果、売上高は、510,850千円（前年同四半期比4.7%減少）、セグメント利益（営業利益）は、27,237千円（前年同四半期比282.0%増加）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産については、前連結会計年度末に比べ213,839千円増加し14,264,730千円となりました。この主な要因は、たな卸資産が328,544千円及び石巻支店の施設・設備の復旧等により建物及び構築物が46,781千円増加した一方で、前渡金が104,440千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ175,366千円増加し13,721,333千円となりました。この主な要因は、短期及び長期借入金が390,185千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が170,314千円減少したこと等によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ38,472千円増加し543,397千円となりました。この主な要因は、四半期純利益50,158千円を計上したことと、その他有価証券評価差額金が7,538千円減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ59,921千円減少し667,017千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は296,777千円（前年同四半期は178,821千円の使用）となりました。この主な要因は、補助金収入89,260千円があったことと、たな卸資産が330,709千円及び売上債権が87,983千円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は112,913千円（前年同四半期は26,081千円の獲得）となりました。この主な要因は、石巻支店の施設・設備の復旧等のための有形固定資産（建物及び構築物）の取得による支出110,029千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、調達した資金は356,134千円（前年同四半期は68,979千円の調達）となりました。この主な要因は、短期及び長期借入金（純額）が390,185千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、新設住宅着工戸数の持ち直しが期待されるものの、世界的な経済減速が懸念されており、景気の先行き不透明感が続くものと思われ、住宅関連業界を取り巻く環境は、厳しい状況が見込まれます。

こうした状況の中で当社は、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の最終年度として、更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組む所存であります。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	856,031	795,347
受取手形及び売掛金	4,825,377	4,878,765
商品及び製品	2,470,771	2,775,910
仕掛品	32,900	35,231
原材料及び貯蔵品	250,306	271,379
前渡金	278,133	173,692
その他	248,438	213,001
貸倒引当金	△375,033	△373,049
流動資産合計	8,586,924	8,770,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	366,730	413,511
機械装置及び運搬具(純額)	57,010	57,043
土地	3,142,318	3,142,430
山林	483,503	486,653
リース資産(純額)	282,891	277,711
建設仮勘定	41,055	—
その他(純額)	3,249	2,853
有形固定資産合計	4,376,760	4,380,203
無形固定資産		
その他	22,051	21,343
無形固定資産合計	22,051	21,343
投資その他の資産		
投資有価証券	359,850	344,649
長期貸付金	102,479	137,406
破産更生債権等	1,121,037	1,007,283
その他	562,970	550,697
貸倒引当金	△1,081,182	△947,134
投資その他の資産合計	1,065,155	1,092,902
固定資産合計	5,463,967	5,494,449
資産合計	14,050,891	14,264,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,394,953	3,224,639
短期借入金	7,965,125	8,475,876
リース債務	58,947	56,247
未払法人税等	17,708	12,178
賞与引当金	12,400	11,536
その他	217,680	191,104
流動負債合計	11,666,814	11,971,582
固定負債		
長期借入金	1,370,474	1,249,908
リース債務	241,208	233,009
繰延税金負債	9,662	5,596
退職給付引当金	240,642	243,991
資産除去債務	12,594	12,675
その他	4,570	4,570
固定負債合計	1,879,151	1,749,751
負債合計	13,545,966	13,721,333
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,502,459	1,502,459
資本剰余金	1,000,000	1,000,000
利益剰余金	△1,966,975	△1,916,816
自己株式	△15,794	△15,845
株主資本合計	519,690	569,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,341	7,802
繰延ヘッジ損益	△590	△374
為替換算調整勘定	△29,516	△33,827
その他の包括利益累計額合計	△14,765	△26,399
純資産合計	504,924	543,397
負債純資産合計	14,050,891	14,264,730



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,547,093	8,207,946
売上原価	6,728,948	7,401,970
売上総利益	818,145	805,975
販売費及び一般管理費	639,865	653,038
営業利益	178,280	152,937
営業外収益		
受取利息	1,634	1,598
受取配当金	9,987	10,965
持分法による投資利益	8,080	3,320
その他	3,595	22,109
営業外収益合計	23,297	37,994
営業外費用		
支払利息	95,075	97,606
為替差損	4,180	4,073
その他	33,195	41,466
営業外費用合計	132,450	143,146
経常利益	69,127	47,785
特別利益		
補助金収入	—	89,260
特別利益合計	—	89,260
特別損失		
固定資産除売却損	22	9
投資有価証券評価損	—	2,752
固定資産圧縮損	—	76,024
災害損失	8,355	—
退職給付制度改定損	973	—
特別損失合計	9,352	78,787
税金等調整前四半期純利益	59,775	58,258
法人税、住民税及び事業税	8,612	8,136
法人税等調整額	△60	△36
法人税等合計	8,551	8,099
少数株主損益調整前四半期純利益	51,223	50,158
四半期純利益	51,223	50,158

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,223	50,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,954	△7,538
繰延ヘッジ損益	△2,002	216
為替換算調整勘定	△13,216	△4,311
その他の包括利益合計	△21,174	△11,634
四半期包括利益	30,048	38,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,048	38,524
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	59,775	58,258
減価償却費	55,641	53,966
災害損失	7,497	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,985	△136,032
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,117	△864
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,837	3,348
受取利息及び受取配当金	△11,621	△12,564
支払利息	95,075	97,606
固定資産売却損益(△は益)	22	9
持分法による投資損益(△は益)	△8,080	△3,320
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,752
売上債権の増減額(△は増加)	24,009	△87,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	△429,819	△330,709
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△9,279	113,754
仕入債務の増減額(△は減少)	107,613	△65,257
その他	△6,139	5,284
小計	△75,365	△301,750
利息及び配当金の受取額	20,540	21,829
補助金収入	—	89,260
利息の支払額	△96,227	△92,295
法人税等の支払額	△11,352	△13,820
災害損失の支払額	△16,416	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△178,821	△296,777
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△148,600	△142,622
定期預金の払戻による収入	147,110	143,383
有形固定資産の取得による支出	△20,698	△110,029
有形固定資産の売却による収入	52,237	—
無形固定資産の取得による支出	△4,950	△479
貸付けによる支出	△57,200	△77,600
貸付金の回収による収入	61,374	61,908
その他	△3,192	12,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,081	△112,913

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	88,250	491,235
長期借入れによる収入	90,000	—
長期借入金の返済による支出	△90,440	△101,050
リース債務の返済による支出	△18,730	△33,999
自己株式の取得による支出	△99	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,979	356,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,238	△6,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△89,998	△59,921
現金及び現金同等物の期首残高	366,437	726,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,439	667,017

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## (6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,835,262	1,176,038	7,011,300	535,793	7,547,093	—	7,547,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	834	834	△834	—
計	5,835,262	1,176,038	7,011,300	536,628	7,547,928	△834	7,547,093
セグメント利益又は損失(△)	191,793	△20,644	171,149	7,131	178,280	—	178,280

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	木材事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,544,536	1,152,560	7,697,096	510,850	8,207,946	—	8,207,946
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,195	—	50,195	9,323	59,518	△59,518	—
計	6,594,731	1,152,560	7,747,291	520,173	8,267,465	△59,518	8,207,946
セグメント利益又は損失(△)	194,227	△68,527	125,699	27,237	152,937	—	152,937

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プレカット事業及び不動産賃貸等事業を含んでおります。

2 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。